

# 1 ClientManager とは

## 1.1 ClientManager の目的

ClientManager(以降、CM とも呼びます)は、ネットワークに配置されたクライアント PC の一括集中管理を実現するシステム管理製品です。

ClientManager を利用することにより、マネージャマシン上の GUI を通してクライアント PC の構成情報／性能情報の参照、クライアント PC の障害の検出、クライアント PC の操作（リモート制御）を行うことができ、システム管理者のクライアント PC の管理保守作業を大幅に効率化することができます。

## 1.2 ClientManager の提供機能

ClientManager はクライアント PC を管理するため、以下の機能を提供しています。

### ■ 構成管理機能

LAN に接続されたクライアント PC を自動的に検出し、クライアント PC のハードウェア/ソフトウェアの構成情報をマネージャ PC 上に収集、データベースに格納し、GUI を元に画面に表示します。GUI からは条件を指定したマシンの検索や、クライアント PC のリアルタイムの性能情報 (CPU、メモリ、HD 使用率) やプロセスの一覧参照も行えます。

構成情報の項目は DMTF(Distributed Management Task Force) の定めた標準 MIF(Management Information Format)に準拠しています。

### ■ 障害管理機能

クライアントの以下の障害をリアルタイムに検出し、ESMPRO 統合ビューアに表示 (アイコン色変更、アラートビューアへのイベントの記録) します。

- しきい値を設定し、クライアント性能 (CPU、メモリ、HD 使用率) の異常検出
- 死活監視によるクライアント PC ダウン
- クライアント NT イベントの通知

### ■ リモート制御機能

クライアント PC に対するリモート制御機能を提供します。

- リモート操作  
マネージャマシンの画面へのクライアント PC 画面イメージの表示と、マウス、キーボードを使ったマネージャマシンからクライアント PC の操作
- リモート電源制御  
マネージャマシンからクライアント PC の電源投入/切断の操作
- ファイル転送機能  
マネージャマシンからクライアント PC へのファイルの転送、収集の操作

## 1.3 ClientManager の特徴

以下に ClientManager の特徴を説明します。

### ■ 高機能

構成情報がマネージャのデータベースに格納されるため、管理下の全クライアント PC の一覧表示や、指定した条件に合致したクライアント PC の一覧表示を行うことができます。データベースは Microsoft 社の SQL Server、MSDE と Oracle 社の Oracle に対応しています。リアルタイムなクライアント PC の性能情報表示や、リモート制御機能により、クライアント管理作業を強力にバックアップします。

### ■ 統一した操作性

ESMPRO の統合ビューアとの連携方法や Look&Feel が ESMPRO シリーズとして統一されているため、ユーザは共通の GUI でクライアント PC に対する管理操作を行うことができます。

### ■ 容易な運用

クライアント PC の制御情報（しきい値、構成情報収集周期等）の設定は全てマネージャマシンから行うことができます。

### ■ リアルタイム性の保証

クライアント PC で検出した障害のマネージャへの通報や、マネージャからクライアント PC に対して設定した制御情報（しきい値、構成情報収集周期等）の反映はリアルタイムに送信されます。

### ■ 低負荷

構成情報については、変更があったときに差分のみ転送するため、ネットワークやシステムに負荷をかけずにシステム管理を実現することができます。

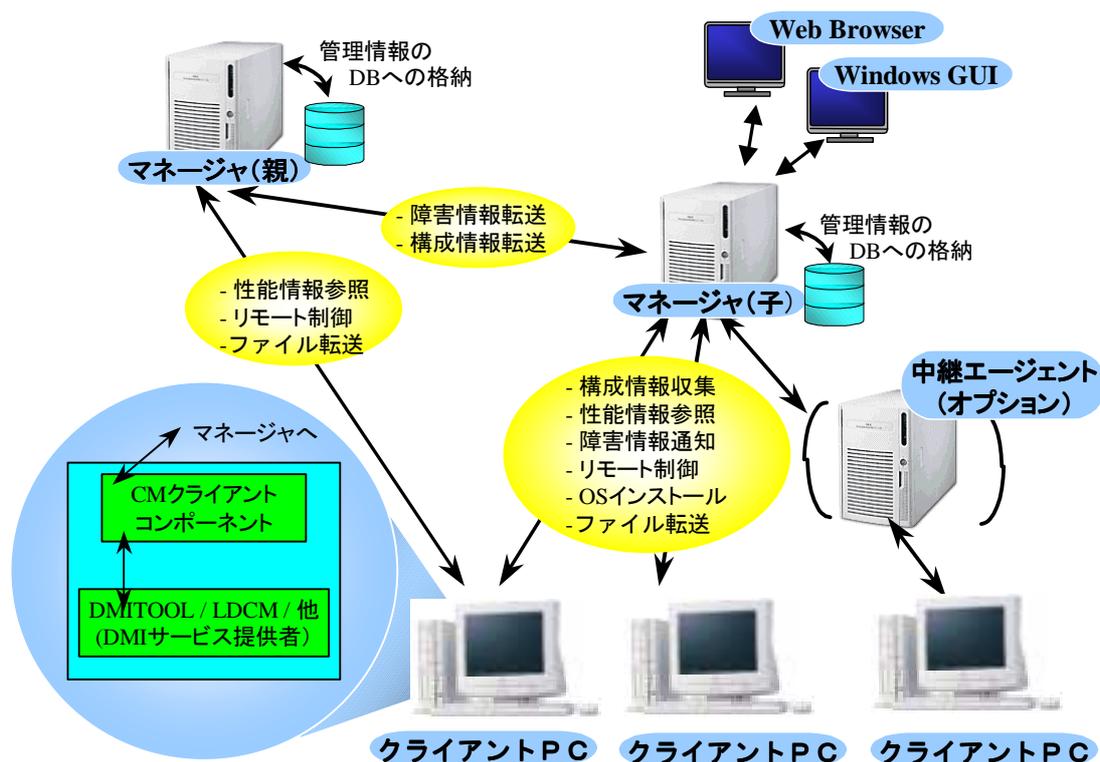
### ■ 拡張性

マネージャを階層化することにより、PC-LAN による小規模なシステムから全国の支社／支店内のクライアントを本社サーバから集中管理する大規模システムまで、管理対象となるシステムの拡張が可能です。

# 1.4 ClientManager のシステム構成

## 1.4.1 基本システム

ClientManager のシステム構成について説明します。



LDCM: Intel® LANDesk ClientManager®

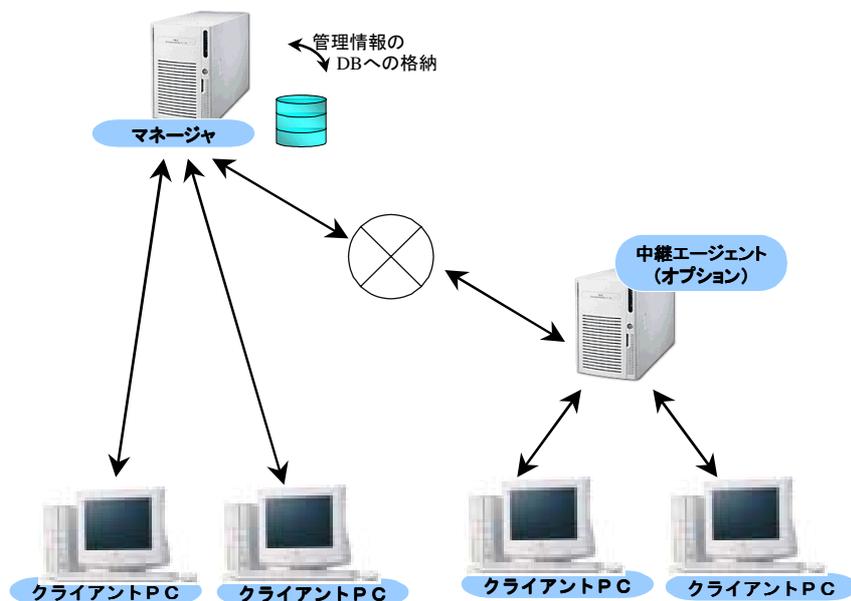
システムはマネージャと管理対象であるクライアント PC から構成されます。

1. マネージャには CM マネージャコンポーネント、クライアント PC の構成情報等を格納するデータベース（以降DBとも呼びます）、GUI（CM データビューア、CM 管理ツール）が置かれます。データベースと GUI は他のマシンに移すことも可能です。CM マネージャコンポーネントを CM マネージャ、GUI を CM GUI と呼びます。
2. クライアント PC には CM クライアントコンポーネントが置かれます。CM クライアントコンポーネントを CM クライアントと呼びます。
3. 構成情報の転送を中継するための CM 中継エージェントをサーバ上に分散配置することができます。通常、構成情報の転送は、クライアント PC とマネージャとの間でダイレクトに行われま

す。クライアント PC 上の CM クライアントコンポーネントが構成情報の差分を検出し、差分のみを転送します。しかしながら、CM クライアントセットアップ後最初の 1 回は構成情報全体が転送されます。CM 中継エージェントをサーバ上に分散配置することにより、マネージャマシンの負荷、ネットワークの負荷を制御することが可能です。

4. マネージャに親子関係を付け、階層化 (2 段まで) することが可能です。階層化を行うと子マネージャのデータベースに格納された構成情報は、親マネージャのデータベースにも転送され格納されます。

## 1.4.2 中継エージェント



構成情報の転送を中継するため、およびリモート電源制御の中継のために、中継エージェントを利用することができます。

マネージャと異なる LAN セグメントに存在するクライアント PC の電源をマネージャより投入する場合、ネットワーク設計によりクライアント PC と同一セグメントに中継エージェントを設ける必要があります。

リモート電源制御を行うために、中継エージェントが必要な場合と、必要でない場合について、以下に説明します。

### 【中継エージェントが必要な場合】

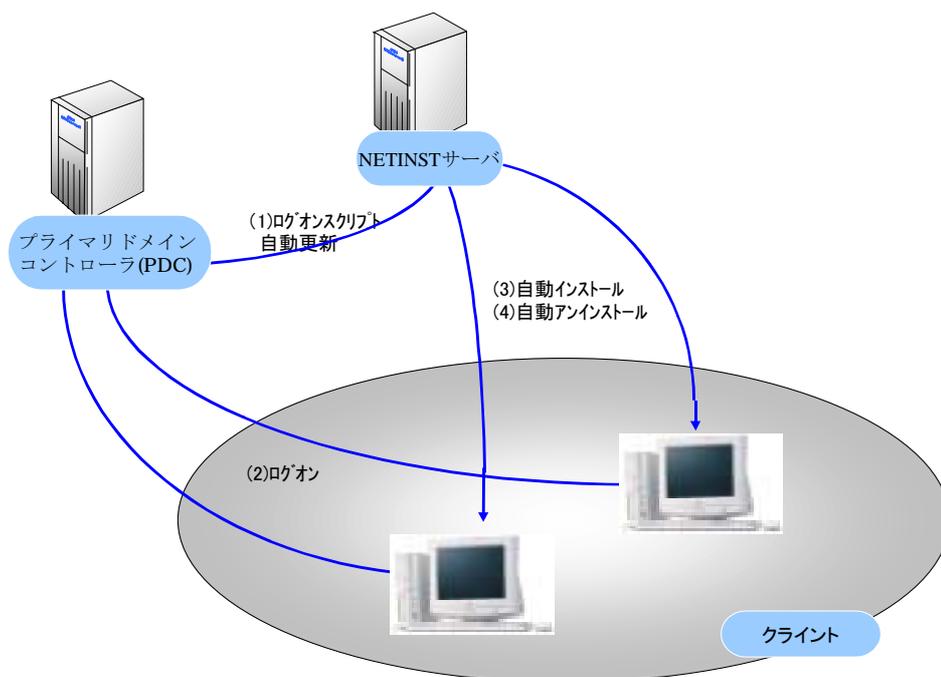
ネットワーク設計においてブロードキャストパケットをセグメント間にまたがって送信できない場合。あるいは、ネットワーク設計ではブロードキャストパケットをセグメント間にまたがって送信できるが意識してブロードキャストパケットをセグメント間にまたがって送信させたくない場合。

### 【中継エージェントが必要でない場合】

ネットワーク設計においてブロードキャストパケットをセグメント間にまたがって送信できる場合。

## 1.4.3 ネットワークインストール

ネットワークインストール（以下、NETINST と呼びます）は、CM クライアントを、クライアントコンピュータに自動的にインストールします。



※ PDC…プライマリ・ドメイン・コントローラ

NETINST で実現される機能には、以下のようなものがあります。

- NETINST は、管理するドメイン全てのユーザのログオンスクリプトを自動的に更新します（ドメインにユーザが追加されたときにも、自動的にログオンスクリプトを更新します）。このログオンスクリプトによって、ログオン時の自動インストール・アンインストールを実現しています。
- **ClientManager** クライアントの自動インストール時には、あらかじめ用意しておいた環境設定情報を、クライアントコンピュータに反映することができます。
- **ClientManager** クライアントをアンインストール指定し、ログオン時にクライアントコンピュータから自動的にアンインストールすることも可能です。
- NETINST を 1 台のサーバコンピュータ (NETINST サーバと呼びます) にインストールし、複数のドメインを管理することができ、クライアントコンピュータでのインストール状況を参照できます。

これらの機能により、クライアントコンピュータにログオンすると同時に **ClientManager** クライアントをインストールすることが可能となります。

## 1.4.4 WebAccess

WebAccess は、インターネット上で Web ブラウザからデータビューアの機能を利用するためのソフトウェアです。Web ブラウザから、CM クライアントがインストールされたマシンの構成情報を参照することができます。また、ESMPRO/ServerManager ExtensionPack と連携することにより、Web ブラウザから統合ビューアの機能を利用することができます。

